2023 年 4 月 17 日

角山　智

資産運用レポート：続・ベイリー・ギフォードの日本株投資

１ はじめに

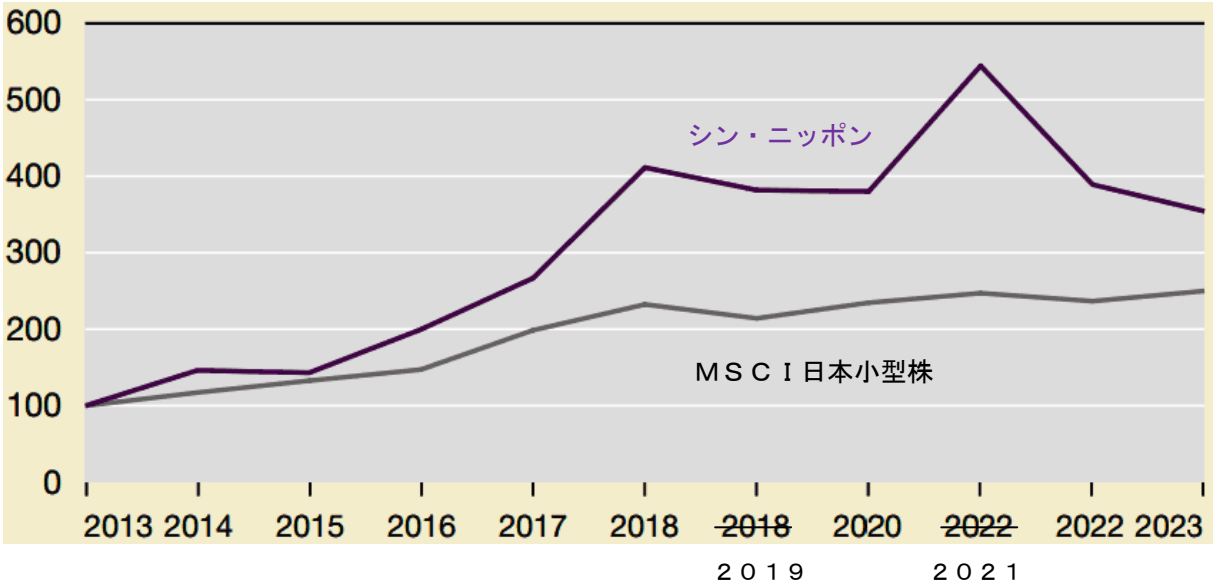
今年２月号の資産運用レポートで取り上げた、英国の独立系資産運用会社「ベイリー・ギフォード社」は、我が国の小型株に投資するファンド「ベイリー・ギフォード・シン・ニッポン」を運用しています。

平均以上の成長が見込まれる日本の中小企業を中心に投資し、長期的な資本成長を追求することを目標としているファンドです。やり手の創業者が率いている、成長企業を数多く組み入れています。

過去１０年間においては、ベンチマークのＭＳＣＩ日本小型株指数を大幅に上回るパフォーマンスを達成しました（下図）。

もっとも２０２１年以降は苦戦しています。ＦＲＢを筆頭に、日銀を除く世界中の中央銀行が金利を引き上げたため、将来の商品・サービスの需要減退につながると投資家が懸念し、成長株が大幅に下落したためです。

それでもファンドマネジャー氏は前向きの姿勢を崩していません。成長株が将来の増収増益をほとんど想定していない水準であることに対して「辛抱強く、市場のノイズを見抜くことで、魅力的な長期的リターンをもたらす優れた企業を選ぶチャンスが増える」とコメントしています。

今回の資産運用レポートでは、最近公開されたアニュアルレポート（２０２３年１月）を参考に「ベイリー・ギフォード・シン・ニッポン」の保有銘柄を見ていきます。

★ベイリー・ギフォード・シン・ニッポンのパフォーマンス